



速いは近い
つながる小松



小松市

4 次年度に向けた取組について

森林整備を通じたカーボンオフセットに係る連携について（１）

基本理念



東日本でつなぐSDGs宣言

SDGsの推進をオール東日本で更に盛り上げ、加速させる

各都市で取組を共有し地域課題を解決するなど、東日本地域の活性化を図っていく

提案の主旨

各都市におかれては2050年カーボンニュートラルの達成に向けて各種取り組みを推進されていることと思いますが、その実現に向けた取組は容易ではないと推察しております。

地球温暖化対策において地域脱炭素の視点は重要ですが、地域脱炭素と並行して「地域の枠を超えた連携」によって、国全体のカーボンニュートラル（脱炭素ポテンシャルの他地域利用）を進めていくことも必要と認識しているところです。

一方で、市域の多くに山間部を含む都市においては、森林の適正な保全を進めていくことも重要であり、それらを同時達成するために「森林整備を通じたカーボンオフセットに係る連携」について提案させていただくものです。

森林整備を通じたカーボンオフセットに係る連携について（２）

事業イメージ

(1) 【拠出市】に交付される森林環境譲与税等を活用して【整備市】内で森林整備を実施

(2) 整備により認定されたCO2吸収量を【拠出市】に還元（排出量と相殺）

※5カ年程度の計画期間で森林整備を実施。整備された中山間地域での交流（環境教育）等も実施



※カーボンオフセット事業のほか、間伐材を利用した木製遊具（積木等）の製造及び提供（拠出市内のこども園）等についても検討

【相互のメリット】 ○拠出市 森林整備に伴うCO2吸収量の算入（カーボンニュートラル）等
○整備市 森林の適正な保全等

【他地域での連携例】

松戸市(千葉県) ⇄ 倉吉市(鳥取県)、千代田区(東京都) ⇄ 高山市(岐阜県)

上尾市(埼玉県) ⇄ 片品村(群馬県) ほか

